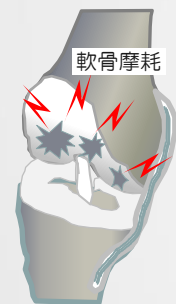


ひざの痛みの原因

ひざは大腿骨（ふとももの骨）、脛骨（すねの骨）、と膝蓋骨（皿の骨）で構成されています。大腿骨と脛骨の接触部分は軟骨で覆われています。隙間には半月板があり、ひざへの負担を減らす役割をしています。ひざの内側の軟骨が変性し、摩耗してくると徐々にO脚となりひざの内側に痛みがでる「変形性膝関節症」になります。患者総数は2500万人以上といわれています。外来での初期の治療として、薬物療法、大腿四頭筋訓練などの運動療法、足底板などの装具療法、ヒアルロン酸の関節内注射などが試みられます。十分な保存療法でも痛みや腫れが改善しないときやレントゲン、MRIにて軟骨の摩耗が進んでいるときには大学病院などで手術療法が行われます。患者さん個人の病期の進行の程度や活動量に応じて手術の種類は選択いたします。



地域連携

大学病院に紹介で来院された方でも保存療法にて経過をみれる方が多いです。その際には半年に1回程度、当院で定期検診をうけていただき、日常の薬物療法、運動療法、関節注射は紹介いただいた地域の病院にて行っていくかたちで、連携をとって治療していきます。

人工関節にしない治療もあります。生涯、元気に自分のあしで歩けるように最適の治療を行います。



片桐洋樹講師

命を守り、命を輝かせる



獨協医科大学埼玉医療センター第二整形外科では

- 軟骨、半月板に特化したMRIによる正確な診断。
 - 患者さんひとりひとりにあった最新治療。
 - ひざ、半月板の温存手術から人工関節まで。
- を提供いたします。

受診に関するお問い合わせ

紹介状を取得いただき

下記にお電話ください

初診時予約・医療連携部門

TEL:048-965-1147

第二整形外科外来

TEL:048-965-9167

※外来受診には紹介状が必要です。

半月板後根損傷など、変性の早い場合もあります。
お気軽にご連絡ください。

獨協医科大学埼玉医療センター 第二整形外科
〒343-8555 埼玉県越谷市南越谷2-1-50



股関節、ひざ関節でお困りの方はお気軽にご相談ください。



獨協医科大学 埼玉医療センター
Dokkyo Medical University Saitama Medical Center



ひざに痛み のある方に

最新医療のご紹介



獨協医科大学埼玉医療センター
第二整形外科

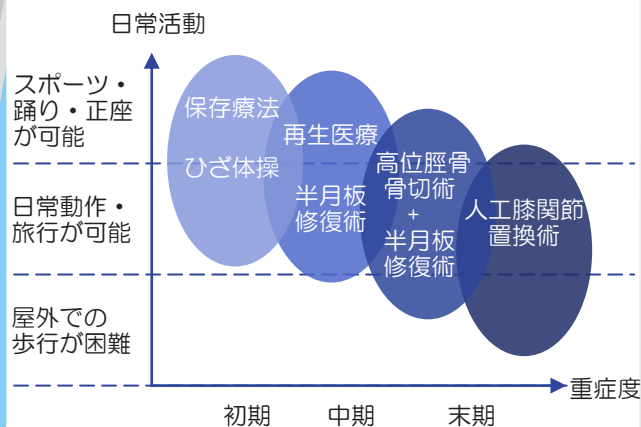
ひざ痛への治療

ひざ関節温存から人工関節
まで、ひとりひとりにあっ
た最新治療をご提供します。

渡邊敏文准教授



ひざ痛の原因である変形性ひざ関節症には数多くの治療の選択肢があります。患者さん個人のニーズは多様化しており、画一的な手術選択のみではニーズに応えられない可能性があります。当院では画像所見のみでなく、ADL・症状・患者ニーズに合わせたオーダーメイドの治療を心がけております。保存療法、再生医療、半月板修復術、高位脛骨骨切り術、人工ひざ関節置換術の中から最適な治療方法を選択し、患者さんのひざの痛みを取り除き、機能を改善させます。

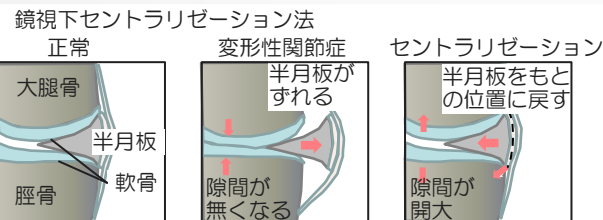


再生医療とは

ひざ軟骨に対する再生医療は世界的に最も研究の活発な分野であり、我々も基礎的研究を報告してきました。国内で行われている再生医療としては間葉系幹細胞を用いた幹細胞治療と自身の血液から作成するPRP（多血小板血症）療法があります。一方で再生医療は最新の治療のため理解の難しい側面があります、過去の研究に基づき、効果や適応などに関して分かりやすく説明いたします。適応にあう方は連携施設での治療を行っております。

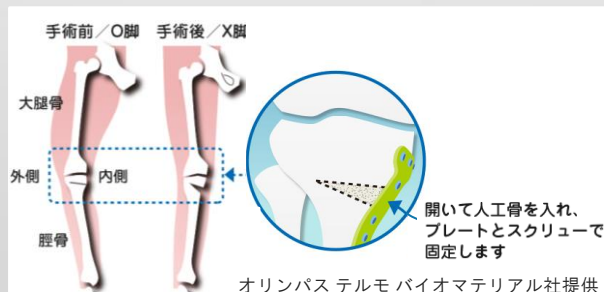
半月板修復術とは

半月板はひざ関節で大腿骨と脛骨の間にあり、体重の伝達を補助する重要な役割があります。半月板の損傷や切除などで機能が低下すると、ひざの痛みの原因となるだけでなく、軟骨にかかる負担が増加し、軟骨の摩耗がすすんでしまいます。当院では変形性関節症の進行予防のため出来る限り関節鏡にて半月板を縫合し修復しております。半月板が脛骨の外側にずれて機能が低下している場合には、最新の手術法の半月板を内方化する関節鏡視下セントラリゼーション法を行ってます。



脛骨骨切り術とは

ひざの傷んだ範囲が内側の軟骨に限定されている方が対象となります。内側の軟骨が傷むとO脚変形となり、傷んだ内側に荷重ストレスが加わります。手術で脛骨に切れこみを入れて、くさび型の人工骨をはさみ、O脚変形をややX脚にもどすことにより荷重ストレスを外側に逃がします。ご自身のひざ関節を残すことができるため、手術後も「跳んだり、走ったり」テニスやジョギングなどスポーツ活動を行うことが可能です。運動を行っている方にも最適です。当院では長期のひざ機能の温存をめざして適応のある症例では半月板の修復術を併用しております。



人工関節置換術とは

変形や痛みの強いひざで
もしっかり治療できます。
一度ご相談ください。

齋藤龍佑講師



人工ひざ関節置換術は、変形が進行している方が対象となります。当院では、人工関節専門医が患者さんそれぞれに合った人工関節を使用し、最良の結果が得られるように行っています。手術によって曲がったひざがまっすぐになり、痛みがとれ、歩行も楽になります。両ひざを一度に手術することも可能で、その場合でも入院期間は2〜3週間で元気に自宅に戻れます。また、大学病院の強みを生かし、合併症がある方や90代の方でも他科と協力して安全に手術を行うことができます。

手術のイメージ

